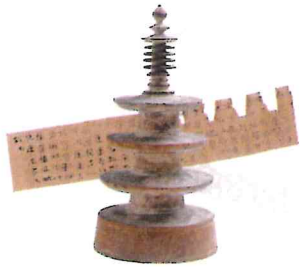


文化交流から生まれたもの  
—奈良時代の仏教版画から、広重、巴水、棟方志功へ—

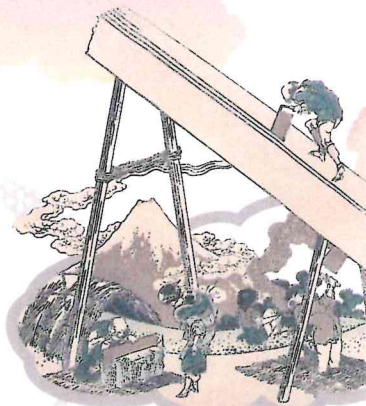


# 1200年



受けとめ、交わり、生まれ出る

# 日本の版画



1200 Years  
of Japanese Prints  
Receiving, Interacting,  
and Emerging



2025  
**3.20**  
thu & holiday  
↓  
**6.15**  
sun

\* 5月8日(木)から後期展示

休館日 月曜日

\* ただし3月5日(月・祝)、6日(火・振替休日)は開館し、7日(水)は休館

開館時間 平日: 10時~17時、土日祝: 10時~17時30分

\* 入場は閉館30分前まで

観覧料 一般 800(600)円、大・高生 400(300)円、中学生以下無料

\* ( )は20名以上の団体料金 \* 3/20(展覧会初日)と、4/19(開館記念日)は入場無料 \* 毎月第4水曜日はツルバーデー(3/26、4/23、5/28は65歳以上の方無料) \* 身体障がい者手帳、愛の手帳(療育手帳)または精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方と付き添いの方1名は半額 \* リピーター割引、ウェアクーポン割引ほか各種割引があります(詳細は当館HPに掲載)

 町田市立国際版画美術館  
Machida City Museum of Graphic Arts

から「百六」奈良時代、木版(無垢)天竺泥金(部分)、奈良時代、木版(1/1)版(前期)、「十二天(与世争)の3才天」(部分)、室町時代、木版  
鳥羽寺彩色(複製)、「四谷友松家当主徳化(百体一統)」(部分)、平安時代、木版(後期)、「扇地家(源氏三十六氏 越前山中)」(部分)、天保2年(1831)版、横大木  
縁起(複製)、「月岡安永(経算百貫目 勘木押入手帳)」(部分)、「豊田4月、1868、大判版(前期)」、「小泉川筋(近代時世(4) 舞)」(部分)、1930年、木版 / 墨地  
幸四郎(リ)「夕凧」(部分)、「1950年、木版」、「山形県山形市山形市立中学校「読書手帳のながさ」」1951年、木版 / 棟方志功「二重扉板堂十太夫子」(前  
権助の神)」(部分)、1939年、木版(前期)、「愛川版(複製)「天竺泥金(3)2の2」(複製)「湖太郎」(部分)、天保4~5年(1833~34)版、横大木版(前期) \* すべて当館蔵

# 版画が 織り成した

## 文化交流の 物語とは――



王概(編)  
『芥子園画伝』(和刻本)より  
宝暦3年(1753)、木版(部分)

### 「日本らしさ」とは、何を指すのでしょうか。

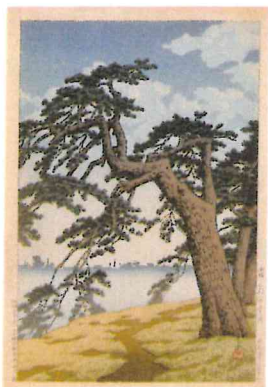
たとえば日本が世界に誇る浮世絵は、実は中国や西洋の表現手法を取り入れつつ百花繚乱の世界を開かせました。歴史を紐解くと、「日本らしさ」の奥には多様な文化的背景をもつ作品や人との交わりを見つけることができるでしょう。

本展では、日本現存最古の印刷物である《無垢浄光大陀羅尼經》から、仏教版画、絵手本や画譜、浮世絵、創作版画、新版画、戦後版画、現代版画へと連なる約240点を当館収蔵品から厳選して紹介。特に他の東アジアの国々とのつながりにも注目し、文化交流の視点で日本の版画1200年の歴史をたどります。

私たちが「伝統」、そして「芸術」として考える版画はどのように生まれ、どこへ向かうのか。この春、「日本の版画」1200年の旅に出かけませんか。



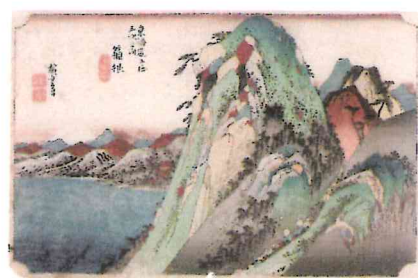
〈円窓の二美人〉  
清時代(18世紀頃)、  
木版手彩色〔後期〕



川瀬巴水〈霧之朝(四谷見附)〉  
1932年、木版



編集：料治熊太『版藝術』  
〈劉峯版画集 北中国郷土玩具集〉  
1936年2月、木版



歌川広重〈東海道五拾三次之内 箱根 湖水園〉  
天保4～5年(1833～34)頃、横大判錦絵〔前期〕



小林清親〈海運橋 第一銀行雪中〉  
明治9年(1876)頃、横大判錦絵〔後期〕



録嘸〈レインボー北斎 ポジションA〉  
1970年、スクリーンプリント

\* すべて当館蔵

### ◎関連イベント

★印のイベントは、町田市イベント申込システム「イベシス」HPあるいはイベントダイヤルでの事前申込が必要です。申込期間等、詳細については当館HPをご覧ください。

#### 1. 記念講演会 ★

5月18日(日) 14:00～15:30

講師 | 山口晃氏(画家)

会場 | 講堂

定員 | 120名(申込順)

\* 本展観覧券(半券可)をご用意ください  
作品制作にとどまらず、著書「ヘんな日本美術史」では独自の観点から日本美術史を論じてきた山口晃氏。実作者の立場からみた日本の版画の魅力を語っていただきます。

#### 2. 0歳からの版画美術館!

親子で鑑賞&版画あそび ★

4月16日(水) 対象 | 0歳～未就学児童とその保護者

5月17日(土) 対象 | 0歳～小学2年生とその保護者

10:15～11:45

講師 | 富田めぐみ氏(NPO法人赤ちゃんからのアートフレンズ シップ協会代表理事)

会場 | 講堂、企画展示室

定員 | 各回10組(申込順)

展示室での鑑賞と、お家で応用できる版画あそびが体験できます。

\* 保護者の方は当日有効観覧券をご用意ください

(お子さまは参加無料)

\* 対象学年を超えるお子さんの参加については申込時にご相談ください

#### 3. 子ども講座 ーみてみてつくろー ★

3月29日(土) 13:30～16:00

対象 | 小学3～6年生

講師 | 杉浦幸子氏(武蔵野美術大学芸術文化学科教授)

会場 | 講堂、企画展示室

定員 | 16名(抽選)

受講料 | 1,000円(材料費込)

展覧会を鑑賞し、出品作品にちなんだテーマで小さな作品を制作します。

#### 4. 復刻浮世絵版木摺り体験2025

5月24日(土) ①13:30～②14:30～

対象 | どなたでも(未就学児は要保護者同伴)

会場 | アトリエ

定員 | 各回10名(当日受付・先着順)

参加費 | 1人100円

#### 5. 担当学芸員によるギャラリートーク

①1章～3章 仏教版画、浮世絵を中心に

4月5日(土)、5月17日(土)

②3章～5章 新版画、創作版画を中心に

3月23日(日)

③5章～7章 創作版画、戦後・現代版画を中心に

3月30日(日)、5月3日(土・祝)

担当 | ①宮崎黎 ②滝沢恭司 ③町村悠香

各日14:00～30分程度

会場 | 企画展示室1、2

\* 本展当日有効観覧券をご用意ください

#### 6. プロムナード・コンサート

6月14日(土) 第1部 = 13:00～

第2部 = 15:00～(各回30分程度)

演奏 | 第1部 玉川大学芸術学部音楽学科

第2部 桜美林大学芸術文化学群音楽専修

会場 | エントランスホール

\* 鑑賞無料

毎週水・土曜日はフリートークデー!

#### ◎同時開催

特集展示

「ふぞろいの版画たちー西洋版画のシリーズとステート」

3月14日(金)～6月15日(日) 常設展示室

入場無料



小田急線・JR横浜線町田駅より徒歩15分